

睡眠時無呼吸症候群について

きたばた ひろのり
北端 宏規 副院長



今回は、睡眠時無呼吸症候群についてお話したいと思います。

●睡眠時無呼吸症候群とはどんな病気?

睡眠中に呼吸が繰り返し停止し、それに伴う日中の過剰な眠気などの症状が出現するものです。20～60歳の男性に多い疾患ですが、女性では閉経前後から増加します。また、肥満のある人や、首が太い人、上気道の形態異常を伴う人などに多くみられます。高血圧症の合併は多く、およそ半数に認められます。薬剤抵抗性の高血圧症では本疾患の合併が多いことも知られています。心筋梗塞などの虚血性心疾患や、脳血管障害、心房細動などの不整脈を合併することも少なくないため注意が必要です。

●認められる症状にはどんなものがあるの?

- ・日中の過剰な眠気
- ・いびき、起床時の頭痛、熟睡感の欠如
- ・家族による睡眠中の呼吸停止の指摘
- ・睡眠中の覚醒、夜間の頻尿
- ・集中力低下、記憶力低下など



●診断のために必要とされる検査は?

- ・簡易睡眠呼吸検査
パルスオキシメーター(酸素飽和度を測定する機器)と呼吸モニター(流量、鼻圧)とを同時に記録し、自動解析により無呼吸の有無を調べるものです。
- ・ポリソムノグラフィー(専門施設での検査)
脳波、眼球運動、オトガイ筋筋電図から睡眠の段階を判定し、睡眠障害の診断に使われます。

当院でも簡易睡眠呼吸検査を行っておりますので、上記のような症状を認める場合には一度受診いただきご相談ください。

●第4回さくら健康フェスタ (令和元年5月19日)

当日は270名を超える方々の参加があり、健康チェックや健康相談、北端宏規副院長による講演会、ポーチ作りなど、どのイベントも盛況となりました。また今回は、ストリートダンスチーム「HOMIES(ホームーズ)」、よさこいグループ「A.S.T(アスト)」の皆さんをお招きしてのダンスイベントや有田警察署による警察車両の見学・試乗会なども開催し、小さな子供さんから大人までたくさんの方々に喜んでいただけました。



●第64回日本透析医学会学術集会・総会 (令和元年6月28日～30日)

当院の西原誘作看護副主任が透析患者のフレイル・サルコペニアに対する当院での取り組みについてポスター発表を行いました。また、成川暢彦院長も「血液浄化法/高齢者」領域におけるポスター発表にて座長を務めました。

テーマ：当院での運動療法の取り組み
～運動の習慣化を目指して～

発表者：西原誘作看護副主任

場所：パシフィコ横浜



(座長の様子)

●介護支援専門員交流会 (令和元年6月19日)

今回は「こんな時どうする?～事例を通して考えよう～」というテーマで症例検討会を行い、介護支援専門員の方々と当院のスタッフで多角的な意見交換を行いました。病院側と介護支援専門員との連携の取り方について話し合うことができ、また医療スタッフからの専門的な情報提供などもあり大変有意義な時間となりました。



新入職員紹介



とみやま あかり
富山 安加里
4階病棟
看護師
(入職日 平成31年4月1日)



やまもと まゆみ
山本 真弓
5階病棟
看護師
(入職日 平成31年4月1日)



社会人としても看護師としてもまだまだ未熟な部分も多く、戸惑うこともたくさんあります。しかし、一日でも早く患者さんやスタッフの皆様へ信頼頂けるよう、日々励んでいきたいと思っています。

4月から5階病棟で勤務させて頂いています。まだまだ不慣れなことも多いですが、患者さんやご家族に安心・安全な看護を提供できるように日々勉強していきたいと思っています。

いわはし みなみ
岩橋 美波
検査室
臨床検査技師
(入職日 平成31年4月1日)



むらなか かすみ
村中 香澄
栄養課
栄養士
(入職日 平成31年4月1日)



4月から臨床検査技師として働いています。日々先輩にご指導頂きながら一日でも早く慣れ患者さんに安心して検査を受けて頂けるよう努力していきたいと思っています。

栄養課で勤務させていただいています。先輩方に丁寧に指導していただき、少しずつ仕事にも慣れてきました。今後も初心を忘れず、患者さんに美味しい食事を届けられるように頑張っていきます。

びとう あまね
尾藤 天音
総務課
事務員
(入職日 平成31年4月1日)



4月より総務課で勤務させていただいています。3月に短期大学を卒業したばかりで、社会人としてまだまだ未熟ですが、先輩方に指導していただきながら精一杯頑張っていきたいと思っています。